

フッ化物洗口の実施の手順

▼保育所・幼稚園の園児の洗口液について

洗口剤は、市販されている医薬品（2種類）どちらかを使用してください。

※（ミラノール・オラブリスの説明書に基づく）

使用薬剤名	使用方法	使用濃度	1人分の使用量	洗口の時間	洗口後の注意
▶ミラノール	毎日法	250ppm	5～7ml	30秒～1分間 ブクブクうがい	効果性を得るため 30分間は飲食を 避けること
▶オラブリス					

▼当日の実施手順について

①洗口液の準備

【ミラノール】の場合

前日もしくは当日に、ミラノールの
粉末（1g 黄色）1包につき、200ml
粉末（1.8g ピンク色）1包につき、360ml
の割合で水道水を加え、必要な量を作成します。
2～3回ボトルを回して粉末をよく溶かします。



【オラブリス】の場合

前日もしくは当日に、オラブリスの
粉末（1.5g 水色）1包につき、300ml
の水道水を加え、必要な量を作成します。
2～3回ボトルを回して粉末をよく溶かします。



②分注

ディスペンサーボトルから、実施園児数の紙コップに5～7mlずつ分注します。
※ディスペンサーボトル（2回押し）で、通常7mlに分注されます。



③洗口開始

全員に洗口液の分注が完了したら、担任の先生の合図で一斉に洗口液を口に含み、顔は、やや下を
向いてブクブクうがいを行います。

（音楽CD等を使用し、すべての歯に行き渡るよううがいをします。）

④洗口終了

30秒から1分間の洗口が終わったら、洗口をやめ、各自、自分のコップに洗口液を十分に吐き出します。※洗口後は、フッ化物が歯の表面に作用するように、30分間は飲食を避けてください。



⑤後片付け

コップに吐き出した洗口液は、流し又は、バケツに捨てます。紙コップを使用した場合は集めて捨てます。プラスチックコップの場合は、ディスペンサーボトルと一緒に水洗いし、乾燥させます。

▼園児の人数に対応した洗口剤の量の目安(濃度 250ppm) 毎日法 1人分 7ml の場合

(医薬品名)	園児数分	28名	57名	85名
ミラノール	使用包数	1包	2包	3包
1g黄色	水道水	200ml	400ml	600ml

(医薬品名)	園児数分	51名	102名
ミラノール	使用包数	1包	2包
1.8gピンク色	水道水	360ml	720ml

(医薬品名)	園児数分	42名	85名
オラプリス	使用包数	1包	2包
1.5g水色	水道水	300ml	600ml

※ディスペンサーボトルで分注する場合、ポンプ(管)の機能上、ボトルの底に50ml程度、洗口液が残ります。

▼フッ化物洗口剤の必要量の求め方

フッ化物洗口を開始するに当たり、年間使用する洗口剤の必要量が算出できます。

参 考

(対象園児数を X 人とします)

▶1日の使用量は $7\text{ml} \times (X) = (Y)\text{ml}$ となります。

▶毎日法(1週間5日)として、年間 約40週(夏休み等を除く)とすると
年間の日数は $5 \times 40 = 200\text{日}$ となります。

(毎日法の場合、週5回)年間では $(Y) \times 200 = (Z)\text{ml}$ を消費。

▶ミラノール(1g入り)1包 で250ppmの洗口剤が200ml作成できますので
年間の必要量は $(Z) \div 200\text{ml} = (W)\text{包}$ です。



◇フッ化物洗口に必用な物品◇

- 洗口剤（ミラノール、オラブリス）
- プラスチックコップまたは紙コップ
- ディスペンサーボトル
- 音楽 CD（砂時計、ストップウォッチ等）



【ミラノール（箱・分包）】【ディスペンサーボトル】【紙コップ】



【音楽 CD】



【砂時計】

洗口の 1 分間を計るためのものです。

音楽 CD は楽しく曲に合わせて洗口できるように作られています。

※物品購入の際は、園歯科医にご相談ください。

